

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

**事業所名** グループホーム わかば

日付 平成 21年 3月 30日  
特定非営利活動法人

**評価機関名** ライフサポート

評価調査員 介護支援専門員経験8年

評価調査員 在宅介護経験15年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

## 1. 評価結果の概要

### 講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

最初の立ち上げから現在まで統括管理者としてすべてのホームに関わってきた管理者は言う。「最初の立ち上げの時からどんな人でも相談があれば入所してもらおう。病気の程度により断る事はしたくない。立ち上げ当初は無我夢中でやってきたが、今時間の経過と共に利用者の様子が変化してきている。今、歩ける人は少なく寝たきりの人が多いのでよく瘡を作らない。風邪を引かせない。この2つを目標に頑張っている。此処で利用者も家族も安心して、楽しく生活できる事、これは利用者第一を職員に常に厳しく言っている事です」と、最初からのホームに関わってきたことを振り返っての言葉だった。

本当にその通り、利用者はいいい顔付と表情をし、ホームでの自分の役割を見つけ、積極的に仕事に参加している。またそれを見ている他の利用者は「きれい好きじゃから机の上だけじゃないんよ、机の横、裏もきれいにしてくれるんよ。有難う」と声をかけて自分の感謝の気持ちを言っている。この様に他人を思いやり自分の気持を言える場づくりが出来ている。帰りに利用者の耳元で挨拶すると「どこからきたん？そうか、何の愛想もなしで。気をつけてな？」と答えてくれる。それはいつも職員がそうして話しているのだろうと思う。一人ひとり満足いく話が出来ているから自分の気持ちを何時までも伝えることができるのだと嬉しく思った。

特に改善の余地があると思われる点

運営推進会議を利用し、防火訓練等について消防団団長に参加してもらい、いろんな事の指導、提案を受けて、今後に繋げてもらいたい。

このホームで、認知症についての知識、技術を地域に還元して行ってもらいたい。認知症ケアの駆け込み寺としての場を今以上に提供して、この地域の拠点としての役割を果たしてもらいたい。

## 2. 評価結果 (詳細)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：管理者の設立当初からの思いは相談があれば入居してもらおう。例えば「病気があり、それにより入居を断る事をしたくない」と強い思いが伝わっている。利用者が暮らしやすい居心地の良い場で支援を受け、生活してもらいたいとの思いが伝わる。特に改善項目は無い。</p> <p>2、全体を見て…：ホームの理念「尊厳・個別ケア・選択の自由」を個別に具体化した目標を設定し、その人らしい生活ができるように職員はいつも気配りができている。車椅子でピーちゃんを抱いてトントンとピーちゃんに何か思いを伝えている人の側には、ピーちゃんだけでなく職員が寄り添い、耳元で今の出来事や様子を知らせている。一人ひとりにちゃんと声を掛け、いつも気に掛けていく様子がちょっと訪問した者にも十分に伝わってくる。本人と家族に安心と喜びを与えてくれる。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：リビングルームには畳み敷きの場所、テレビを見て自分の時間も持てる居場所がある。その場から皆の暮らしが充分伝わって来る。一人ではないので安心感がある。利用者には自分が役立てる場もある。「有難う。助かるわ」と喜んでもらえ、自信もつく場となっている。このような場面なので特に改善項目は無い。</p> <p>2、全体的に見て…：ゆったりとしたリビングルームは車椅子の移動自由にもでき、職員の励ましによって頑張っている利用者の様子を見れば、自分への励ましと感じているように思える。此处には自分の仕事ができる場があり、周りの人のために自然に助けを提供している場面もある。「こんな事お父さんにもしてもらったことがないのに」とニコニコ顔で喜びを伝えている。こんな自分の思いが自然に口から出てくる雰囲気、安心と信頼の心地良さを表出しているように思う。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：自分で出来る事は、声かけしたり、やる気を奮い立たせるような働きかけが出来ている。特に改善項目は無い。</p> <p>2、全体的に見て…：車椅子に人、全介助にて移動の人、寝たきりの人等幅広い支援が必要であるが、自分のできること、自力で車椅子を動かすように「自分で部屋まで行けますよね、今日はうまく部屋まで行けたよね」と声をかけ、食事の下ごしらえのお手伝い、食事前のテーブルの用意してもらえる利用者、椅子に移乗する人には椅子をスーと引いて座りやすくし、椅子を前に押して食べやすい位置してくれる利用者もいて、気配りが十分にできる仲間である。利用者の中にはホームでの自分の仕事を当然のようにしている人もいる。このように自分の出来る事が発揮できる場がある。この様に自分の残っている能力を見つけたら、引き出して、人に役立つ自分に自信を持ってるように職員が取り組んでいることがよく分かる。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：母体の医療法人、グループホームを5箇所、通所サービスを運営して、人々が地域の中で安心して生活できるように努力している。受け入れの姿勢が入居を希望する方にとっても家族にとっても嬉しいの一言、特に改善項目は無い。</p> <p>2、全体的に見て…：地域との交流が寿祭、お祭り、昼市などで地域の中に溶け込んで来ている。寿祭は年々地域の方の参加も増えバザーも盛大に行われて、ホームを理解してもらっていると思う。また家族は行事にはよく参加してくれる関係が樹立できているので、今後は認知症の介護知識を運営推進会議等を通じてもっともっと地域に広めて行こうと考えている。着実に地域に根ざしたホームとなっていくであろう。</p>		